

南知多町産業振興協議会の概要

●協議会の目的は？

「6次産業化」・「ブランド化」を軸に地域産業の活性化を目指します。

●協議会の役割

協議会は、事業者の方をサポートします。

新しい仕事を作りたい、やってみたい方が、気軽に相談できる受け皿になります。

6次産業化・ブランド化の実施事業者と希望事業者の方の相談を受けたり、助言をします。

●協議会の特徴

協議会には、町内の各種団体が参加していますので、業界の枠を超えた相談や連携がやりやすくなります。

●協議会のサポートとは？

(1) 情報の収集・共有・提供

協議会が各団体の情報を共有するなど、事業者に必要な情報を提供します。

6次産業化であれば、6次産業化プランナーを紹介します。

(2) 補助メニューの紹介

国・県・町などの補助金や資金制度の説明や紹介をします。

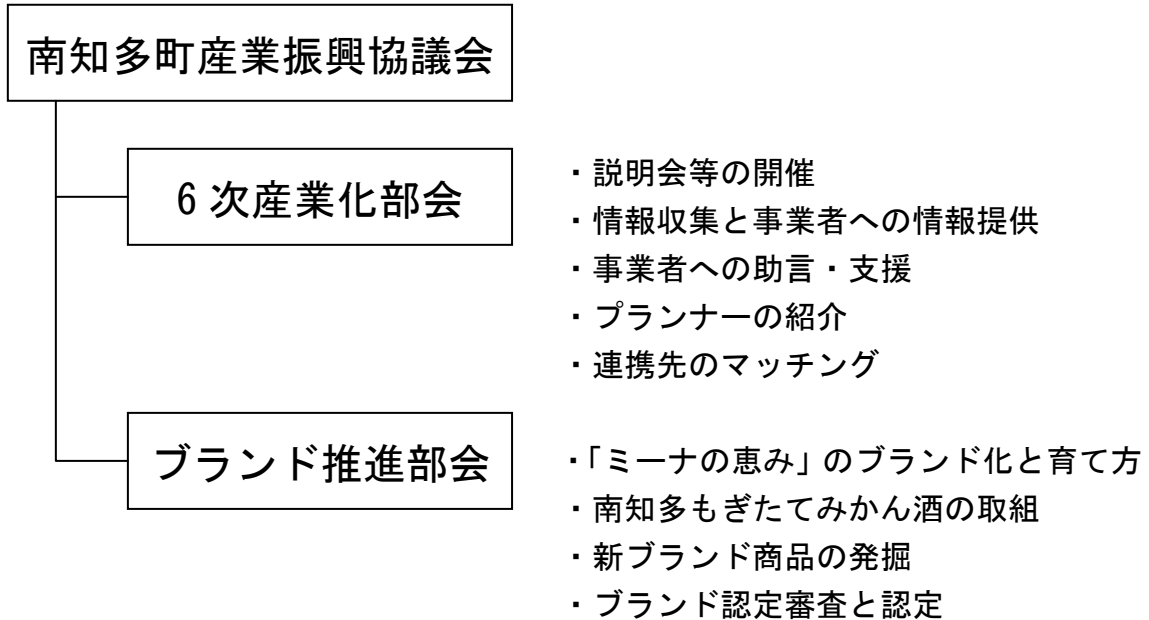
(3) 連携先のマッチング

取り組み事業に合った連携先や相談相手を探し、仲介します。

●相談先はどこ？

協議会に参加している団体・機関のどこでも相談をお受けします。

●協議会の組織



●協議会の構成員

農業、漁業、商工業、観光の各団体、町議会及び役場が構成
具体的には、JA、水産振興会（漁協）、商工会、観光協会など

●部会の構成員

協議会構成員（団体）から選出された実務メンバー
検討商品や内容により、協議会構成員以外から参加を求める

●部会の活動内容

（1）6次産業化部会

①説明会

事業者、一般の方に6次産業化の必要性、メリットを知ってもらう。

②情報の収集・提供

協議会が情報共有し、事業者に情報を提供する。

③事業者への助言や支援

事業希望者の相談窓口となり、連携・提携先の紹介をする。
補助メニューの紹介をします。

④6次産業化プランナーの紹介

大学やコンサルタンの専門家が、国から6次産業化プランナーに認定されています。このプランナーは、準備や計画作りを含め、実際に事業を開始し、発展させていくまで総合的にサポートしてくれます。

(2) ブランド推進部会

①説明会

事業者、一般の方にブランドの必要性、メリットを知ってもらう。

②「ミーナの恵み」のブランド化、育て方の検討

南知多全体のブランドをどうやって育てていくか検討します。

③南知多もぎたてみかん酒の取組

南知多のブランドとしてどのように発展させるか、協議会がモデルとして事業を継続していきます。

④新ブランド商品の発掘

南知多全体のブランドを魅力的なものにするため、ブランドに賛同してくれる既存商品も含め、商品数を拡大する。

⑤ブランド認定審査と認定

南知多全体のブランド「ミーナの恵み」にふさわしい商品を、協議会で認定するため、認定要綱を作成し、審査と認定を行う。

●6次産業化とは

1次×2次×3次=6次産業

- ① 1次産業者が2次・3次産業に取り組む
- ② 2次・3次産業者が1次産業に取り組む
- ③ 1次・2次・3次産業者の連携・融合

●6次産業化のメリット

付加価値の向上→所得の向上

地域ビジネスの展開と新たな業態の創出→雇用が増える→地域の活性化

●ブランド化とは（南知多を地域ブランドに）

南知多のよいイメージを商品につける

他の商品にはない高い品質＝差別的優位性
消費者からの信頼の証

●ブランド化のメリット

ブランドが高い付加価値をもつ→価格の向上→所得の向上
強力な信頼→新商品にも高評価が得られやすい